

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名 地域高規格道路 一般国道331号 <small>とみぐすく</small> 豊見城道路	事業区分 一般国道	事業主体 沖縄総合事務局
起終点 自： <small>とみぐすく</small> 豊見城市瀬長 至： <small>いとまん</small> 糸満市西崎		延長 4.0km
事業概要 豊見城道路(L=4.0km)は、地域高規格道路である沖縄西海岸道路の一部として、『ハコ道路・2環状7放射道路』の一部を形成し、周辺地域の交通混雑緩和はもとより、県都・那覇市や那覇空港と県南部地域とのアクセスを強化し、『県南部地域の活性化』や『物流効率化』、さらには『観光交流』を支援する道路である。		
H元年度事業化	H10年度都市計画決定	H10年度用地着手
H13年度工事着手		
全体事業費	405億円	事業進捗率 68%
		供用済延長 4.0km
計画交通量	28,100~39,300 台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.1 (残事業) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 123 / 442 億円 (事業費：104/417億円) (維持管理費：19/26億円)
	総便益 (残事業)/(事業全体) 174 / 1,388 億円 (走行時間短縮便益：138/1,133億円) (走行経費減少便益：20/211億円) (交通事故減少便益：16/44億円)	基準年 平成19年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（那覇空港までのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（水産品の流通の利便性向上が見込まれる） ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する） 他5項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 県南部地域の生活の安定向上や産業・経済活動を支える上で重要な幹線道路として期待されており、平成19年5月に沖縄西海岸道路建設促進期成会や沖縄ハコ道路ネットワーク建設促進期成会、沖縄県道路利用者会議等10団体より早期整備の要望があったほか、平成14年度以降で8回の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・豊見城市、糸満市が県都・那覇市のベットタウン化し、人口が増加 ⇒ 地域支援 ・豊崎タウン、糸満工業団地など沿線地域で開発計画が進展 ⇒ 産業支援 ・ひめゆりの塔など、観光施設で観光客が増加傾向 ⇒ 観光支援 ・渋滞が慢性化し、南部地域で高い渋滞損失を示す ⇒ 渋滞対策 ・高齢化が進展 ⇒ 救急医療支援		
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は平成19年度末で約68%(用地進捗率100%)であり、平成18年度末に全線暫定供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成23年度に豊崎交差点立体化予定である。		
施設の構造や工法の変更等 橋梁構造の見直しを行った(131百万円縮減)。また、今後も新技術新工法の積極的活用、建設副産物対策の検討を行う。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。